

研究講習事業報告

学発番号: 学22-025★(日臨技推進事業研修会)
事業名: 血液検査研究班 WEB講演会
日時: 令和5年1月21日(土) 14:00~16:30
場所: WEB
主題1: Case study 31(症例検討)
講師1: 那佐 萌 技師(京都大学医学部附属病院)
主題2: WHO分類に準拠した形態学的所見の捉え方
講師2: 後藤 文彦 先生(NTT東日本関東病院)
参加数: 総数:53名(京臨技会員:36名)
報告者: 田辺 祐也(京都第二赤十字病院)

以下、講演内容など

今回はWEBにて症例検討1例と講演1題を行いました。症例検討では京都第一赤十字病院の那佐萌技師より*BCR::ABL1*を伴うB前駆細胞リンパ芽球性白血病が提示されました。他院の紹介内容からは治療関連のAML(t-MN)が疑われていましたが、末梢血・骨髄形態所見は異なる結果でした。先入観を持たずに考える重要性を再認識させられた症例でした。NTT東日本関東病院の後藤文彦先生には、「WHO分類に準拠した形態学的所見の捉え方」として形態検査に必要な知識、観察の方法について幅広く分かり易くお話しいただきました。WHO分類の最新情報や多くの技師が困っている単球系細胞の分類方法などについても紹介され、大変勉強になる有意義な講演会でした。

通常報告